

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・財源をあきらかにしてほしい。調達金額が本県の財政に影響を与えることを考慮し、現在から将来への財源不足が生じないことを財政課から確約を取り付けることまでしてほしい。財源が確保できないため、計画を断念せざるをえないことも考慮してほしい。</p>	<p>○基本構想（案）において、施設の持続可能性について、「収益性に寄与することが期待できるコンサート・イベント等の多目的利用について、スポーツ利用を優先することを前提に積極的に活用するとともに、今後検討を行うPPP/PFI手法において附帯施設に民間活力を導入するなど、施設の持続可能性の観点にも十分留意しながら整備に向けた検討を進める必要がある。」（P50）としております。</p> <p>○具体的には、今後、整備・運営手法を検討する段階で施設の持続可能性にも最大限配慮し、詳細に検討してまいります。</p>
<p>先に述べましたように、体育館という性格を最も尊重すべきです。</p> <p>長年の懸案として整備するものですから、多様あるいは過剰な期待による意見があると思いますが、後々のメンテナンスコストや集客に苦勞するようなレストラン・店舗類の設置による経営負担増などは極力避け、過去のドルフィンポートのイメージから脱却すべきと思います。</p> <p>県有施設管理運営の最前線（フラワーパーク建設、屋久島環境文化村中核施設建設・管理運営、霧島アートの森・みやまコンセール管理運営）を経験した者として、中途半端な展示・イベントスペースや集客効果のない高級なレストラン等の設備は排除し、スポーツへの理解を深める広報設備、若干の観光インフォメーション設備にとどめ、安価で大量供給可能な食堂つまりスポーツ利用者の栄養供給面（アスリートメニューなど）の充実を目的とする食堂整備やスポーツ優先の施設整備に徹してほしいと考えます。</p> <p>また、しばしば提案されがちですけれど、建物のデザインに凝ることは、一時的話題性がありますけれど、内部動線の不都合や収納スペースの不足につながり、使えない施設となってしまうことが多く、設計を精査しなければ設備の無駄につながりますので、十分なお検討をいただきたいと考えます。</p> <p>私自身はスポーツには縁遠いでしたけれど、子供達が大変お世話になってきた施設です。県大会のレベルを超え、国内あるいは一部国際大会的なスポーツ行事まで体験できて将来のオリンピック選手をも生み出すような施設となりますよう願います。</p> <p>既に相当レベルの提言がなされていることは存じますが、少しでも現場の経験がお役に立ちますれば幸いです。</p> <p>ご担当者各位の奮闘に、これまででも、そしてこれからも、ご期待申し上げております。</p>	<p>○基本構想（案）において、施設の持続可能性について、「収益性に寄与することが期待できるコンサート・イベント等の多目的利用について、スポーツ利用を優先することを前提に積極的に活用するとともに、今後検討を行うPPP/PFI手法において附帯施設に民間活力を導入するなど、施設の持続可能性の観点にも十分留意しながら整備に向けた検討を進める必要がある。」（P50）としております。</p> <p>○具体的には、今後、整備・運営手法を検討する段階で施設の持続可能性にも最大限配慮し、詳細に検討してまいります。</p>
<p>・建設に関してもっと色々な場面で広く意見を聞いてほしい。 （各スポーツ団体や協会、現在の各施設を利用する利用者の意見等） 識者だけの検討では現状を把握出来ていない様な気がする。</p>	<p>○頂いた御意見も参考にさせていただき、基本構想（案）に、「整備に当たっては、施設の主な利用者である屋内スポーツ競技団体やまちづくりを所管する鹿児島市をはじめ、関係機関・団体と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。また、既存のスポーツ施設との連携・役割分担についても検討を進める必要がある。」（P50）を追加しました。</p> <p>○今後とも丁寧に検討を進めてまいります。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・「なぜ、鴨池ドーム一帯を整備地として候補地にあがらなかったのか」現県総合体育館のある場所の鴨池ドーム一帯が候補地にならなかったのか。鹿児島市側に具体的にどのような交渉をしたのか、県当局から県民へ丁寧な説明をしてもらいたい。鹿児島市側との協調なくして整備候補地は決められないと考える。 令和3年12月6日付南日本新聞「時論」に投稿された「筑紫直樹氏」の「健全運営を目指し整備を」を参考にすべきである。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・大型投資となりますので当然無駄は許されませんが、本格体育館にしてもサッカースタジアムにしてもどうしてもここで行わなければならない試合、大会が年間365日中何日あるのでしょうか？サッカー場は鴨池や中山にもありますよね。武道館も与次郎にあり、イベント会場はアリーナ、文化ホール、宝山ホールがありアリーナには武道場、トレーニング施設等あります。その他県体育館、鴨池体育館等。予算に余力があるならともかく、この様な事から現有施設の充実で賄えないのかとの思いもありますが…</p>	<p>○現体育館は、築後60年以上が経過しており、老朽化していることに加え、多くの競技で大会を実施するには狭隘であるという課題があります。また、県内には、他にも県大会等の開催に十分な競技面積を有する屋内スポーツ競技施設がなく、複数会場での分散開催や夜間に及ぶ大会運営などにより、選手や関係者に負担が生じております。 さらに、県内には全国大会や国際大会の基準を満たす施設がないことから、県民が一流のアスリートの競技を間近に観戦できる機会を十分に得られていない状況もあります。 新たな総合体育館については、これらの課題を踏まえ、屋内スポーツ競技の中核的施設として整備することとしております。</p> <p>○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>1, なぜ、「鴨池ドーム一带」が候補地に選ばれなかったのか？議論から外されたのか？県当局は鹿児島市との協議経過を説明する必要がある。</p> <p>① 県は検討委員会において、市は「屋内運動施設やテニスコート等として利用されており、鹿児島市からは譲渡の意向なし」と説明しているが、市はそのような話は聞いていないし、協議もしていないと述べている。県は委員会にウソの説明をしているのか！？</p> <p>② 市公文書にも県が説明したような記載は見られない。(又、県は市に対して1.5万平方メートル以上で譲渡可能な土地を教えてほしい、「参考にする」からとのこと。しかし県は市が示した土地(脇田処理場跡地)を市には無断で何と体育館候補地としたのである)</p> <p>③ 県当局は市に対し「上から目線」「県が偉い、頭を下げたくない」等の傲慢な姿勢であり、真摯に協議する姿勢が見られない。いつからか、未だにそうであることが大問題！！まちづくりの主体である鹿児島市が県の検討委員会には呼ばれてもいないのである。</p> <p>2, 県当局は狭い視野の下、自分たちのこと(体育館整備)ばかりを考えているようである。</p> <p>3, サッカースタジアム等に関しても市との協調どころか、軽視した姿勢が多く見られる。</p> <p>4, 体育館をドルフィン跡地と住吉町15番街区に一体的に整備してはどうか、という検討委員会での提案はその場しのぎであり、空論である。委員の方々が気の毒でかわいそう。</p> <p>5, 県当局のこれらの姿勢や考え方を思うに、「厳しく見ると」県に対して鹿児島市の将来ビジョンへの高い志や展望などを期待することは、残念ながら困難と思える。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照)</p> <p>○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p> <p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想(案)において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」(P50)としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>新体育館の整備地候補として、現在の体育館の近辺が候補に挙がらなかったのは今の鴨池ドーム・南側のテニスコートが鹿児島市の所有であるためではないかと推察される。聞くところでは、鴨池ドームはプロ野球のロッテオリオンズのキャンプ誘致に関連して建設されたとのことだし、現在有効に使用されているとは思わない。また、市のテニスコートも存在するが、現在は県の運動公園内のテニスコートで充当できていると考える。県・市という立場に拘らず、鴨池一带を県・市の運動施設集約地と考えて運用していくことを提案する。これからの人口減に伴って厳しくなる自治体の予算や経費を考えると、鹿児島という大きな視点で県・市が一体となってインフラを整えていかなければならないことは明々白々である。そんな時代にあって、一県民、一市民の立場には、県がどうの、市がどうのという視点で物事を捉えている現状は甚だ滑稽にさえ映る。以前から県と市は折り合いが悪い、利権争い・・・といった風評もあるやに聞くが、県民・市民が未来に希望を持って、且つ利便性の高い体育館の建設をめざし、両自治体で取り組んでいただきたいと思う。28日付の南日本新聞朝刊の一面に新総合体育館建設計画についての記事が掲載されたが、その中で委員の笹川理子弁護士も「県と市と一緒に検討委員会つくり議論すべきだ」と述べておられるが、まさにこの意見こそ、多くの県民の思いではないだろうか。スタート地点に帰ることを躊躇せず、賢明な判断を下されることを期待したい。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照)</p> <p>○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p> <p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想(案)において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」(P50)としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・ ついでに、外にランニングコース作って頂けると嬉しいです。 ドルフィンポートなくなってから暗いし、人もいなくて怖く感じて、冬場はかんまちあで走っていますが、かんまちあは1周500mなので、5km, 10km走ると、何周走ったのかわからなくなって（笑）近くに1kmのコースがあると、本当にうれしいです。 フルマラソンをかなりのタイムで走る男の子は走るのが早いので、かんまちあは走りづらい感じで言っていました。</p> <p>・ ウォーターフロントパーク・潮風通り ドルフィンポート境界は自分ちの庭のように、いつも利用しています。 ランニング・散歩、休日はお弁当を食べたり、コーヒーを飲んだり桜島を眺めながら楽しんでます。年間300日くらいはウロウロしています。決まったからには、皆に愛される場所になってほしいです。なんだかお嫁に出す気分です。 とうとう決まったか……</p>	<p>○頂いた御意見も参考にさせていただき、基本構想（案）に、「若者がスポーツに関心を持てる仕組みづくり（スポーツライミングなど、ニュースポーツ等への対応）」（P13）、「屋外における県民の健康増進（ヘルス）サービス機能や若者がスポーツに関心を持てる仕組みづくりとして、散歩・ランニングコースやスケートボード・BMXなどのニュースポーツへの対応を検討する。」（P29）を追加しました。</p> <p>○具体的には設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・ 市電の延伸を一体化策として検討してみてもいかがでしょうか？ → いづる電停からまっすぐに約500m東進して旧ドルフィンポート跡地まで。 鹿児島中央駅～旧ドルフィンポート跡地までの市電の直行便を通常運行に織り交ぜる。イベント開催時には増便も考慮する。</p> <p>延伸のメリット：①自動車利用を減少できる（CO2削減、渋滞緩和、選手や家族など荷物の多い人の自動車利用はしやすくなる・・・など）。②日常的にウォーターフロントが賑わい、活性化する。③航路便（桜島、種屋久等）の利用者が鹿児島中央駅にアクセスしやすくなる。④鹿児島中央駅からのアクセスが向上するので市外からの（施設利用者や観光客など）移動がしやすい。</p> <p>延伸のデメリット：①イニシャルコストが大きい。②ランニングコストが増える。③市電延伸部分の道路幅が減少する（単線折り返しで緩和可能）。③市電なので県独自に進められない（市との協力が必要）。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・いよいよ県民待望の候補地が絞られてきました。この地に人工的な構造物を作ることによって景観がそなわれると心配される人々がおられることも事実です。</p> <p>・体育館，アリーナの機能を満たすとある程度の高さで容積は必要です。できるものならば半地下方式がいいのですが，自然災害を考えれば無理でしょう。</p> <p>今までの構造物は，人工的なコンクリート，壁材，屋根材が主流でしたが，屋根外壁など見える部分を年中管理のしやすい自然芝で構成したら見た目にも優しく，断熱効果もあり，地球環境にもマッチしていると思われま。構造，素材，耐久性，経済性など諸問題ありましようが，専門家みなさんに検討いただき，少なくとも先進県外と同じもの似たり寄ったりはほしくありません。桜島の前にドーム状の緑の小高い丘，だれでもいつでも登れる憩いの場所ができれば，県民も納得するのではないのでしょうか。</p> <p>当然丘の裾の高さを利用して駐車場も作ることで，一石二鳥の効果があると思ひます。ぜひ新体育館建設にご一考を，お願いしたい。</p>	<p>○基本構想（案）においては，「その施設のデザインなどが本港区エリアにふさわしいものであることや，新たに展望スペースなどを設置することにより，桜島や錦江湾の眺望を楽しむ新たな空間を創出する方向で検討を進める。」（P45）としており，具体の意匠やデザイン等については，設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・宿泊施設の周辺状況を問題の一つとしていますが，決定から完成の5～10年後には宿泊問題は解決出来るかと考える。大量輸送の鉄道状況（イベントは全国から来鹿）を重視すべきで車両（駐車場）問題はどのように成るのでは？</p>	<p>○今回の評価は，各候補地の優劣をできる限り客観的に判断するため，現時点で把握できる各候補地の現状を踏まえて行ったところです。</p>
<p>・総合体育館だけでなく，ぜひ県武道館も含めて考えてほしいと思ひます。長年，両施設を利用してありますが，現在の体育館，武道館は県外の建物と比較しても大変恥ずかしいです。例えば福岡県のマリンメッセ福岡，宮崎県の県武道館は，各種スポーツ，イベント，プロスポーツのキャンプ等でも使用されており大変素晴らしいと思ひます。</p> <p>・また雄大な桜島の景観を活かし，福岡国際センター周辺のベイサイドプレイスのようなレストラン，ショッピングなどを楽しめる県民，観光客が気軽に足を運べるような施設やアウトレットモールを整備することにより鹿児島島の活性化にもつながると考えます。</p> <p>ありきたりな意見かもしれませんが，これからの新しい鹿児島を象徴するような施設が完成することを望んでいます。宜しくお願ひします。</p>	<p>○新たな総合体育館は，柔剣道場も含め，屋内スポーツ競技の中核的な施設（聖地）として，県大会をはじめとする各種大会の円滑な運営や，全国・国際大会の誘致が可能な施設となるよう検討を進めているところです。また，これに加え，コンサート・イベント等の開催を通じ，スポーツをする人もしない人も交流できる施設として検討を進めることとしております。</p> <p>また，新総合体育館については，基本構想（案）において「本港区エリアの立地を活かし，スポーツ大会等の施設利用者のみならず，県民や観光客が気軽に立ち寄り，回遊できる仕組みを検討することとする。具体的には，多目的広場やアプローチ空間，エントランスや展望スペースなどを活用し，カフェやイベント等にも利用可能な交流スペースを設けるなど，開かれた施設としての整備を検討することとする。」（P46）としております。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・ドルフィンポート跡地の地形では桜島を生かした景観の建物になりにくいのでは？・また跡地内に十分な駐車スペースはむずかしいのでは？</p>	<p>○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。</p> <p>○駐車場については、基本構想（案）において、「住吉町15番街区に、県大会等のスポーツ大会やコンサート・イベント等の利用を想定した駐車台数として一般駐車場で500台程度、バス駐車場で50台程度を計画する。多目的広場を臨時駐車場として利用した場合の駐車台数は300台程度と想定する。また、新総合体育館近接に日常的な県民利用や関係者等の利用を想定した駐車台数として100台程度を計画し、障害者用駐車場については必要台数を確保する。大規模イベント開催時については、周辺の民間等駐車場（約2,270台）の利用も想定される。」（P30）とされたところです。 ○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。</p>
<p>①知事の公約であるコンベンション施設をドルフィンポート跡地に、という構想だったと思いますがどうなったのでしょうか？ ②ドルフィンポート周辺は眺めが良いので、いこいの広場にして子供から大人まで集うような場所であってほしいです。ちなみに「東洋のナポリ」といわれている桜島を前に見る景観を楽しめるような案が出るまで、県民の広場で良いと思います。ここまで来たら、中長期ビジョンの中で世界中からアイデアを募集して、悔いのないようにして頂きたい。 知事も聞く耳を持っていただき、単なる形式的アンケートに終わらないことをお願いします。</p>	<p>○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりランドデザインとの整合性」をご参照ください。</p> <p>○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。</p> <p>○基本構想の策定に当たっては、この意見募集を参考とさせていただくとともに、改めてパブリックコメントを実施する予定としております。また、県議会での御論議をいただき、基本構想として策定する予定です。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・県都鹿児島市のグランドデザイン（ビジョン）が見えてきません。新総合体育館の建設場所だけがスポット的に議論されています。緑地公園、サッカー場も含めた全体像を決めてから着手しても遅くはない気がする。建てたらおしまい。維持管理費だけが残ります。 ・できれば、この応募用紙の送信先もスポーツ対策室ではなく、総合政策部長宛が望ましいと思う。スポーツ対策室はドルフィンポート跡地に新総合体育館建設を推進せざるを得ない立場ゆえ反対意見は取り上げにくい、私も申し訳なく思っている。 ・ドルフィンポート跡地は県民に残された最後の財産です。鹿児島県民や観光客の憩いの場として、観光拠点（新観光名所）として、緑地公園として活用した方が体育関係施設を造るよりはより良い場所と考える。体育関連施設は、ここドルフィンポート跡地に限る必要はなく、他の場所に造ってほしい。民有地にも立地条件の良い場所が他にあるのではないか。 ・鹿児島県は近年中に全人口の3分の1以上を高齢者が占める。高台の団地や郡部の高齢者が鹿児島市街地に集中する対策の場所が、また運転免許を返納した人が、遠くからでも公共機関を使って気軽に行ける場所が、ここドルフィンポート跡地です。ここは交通の便も良く平坦地であるため、高齢者だけでなく、障がい者、子育て世代にも優しく、老若男女問わず活用しやすい場所です。 ・県立吉野公園と指宿のフラワーパークの長所を取り入れた公園を造れば、健康増進に役立ち医療費の削減やSDGSの先進県としてPRできる。県外移住者も増え人口流出も防げる。なによりもほっと一息つける憩いの場所が市街地中心部にほしいのです。 	<p>○本港区エリアのまちづくりについては、平成31年2月に「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を策定しており、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、同グランドデザインに基づき、事業者公募で検討していた宿泊機能等のもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「パイを増やす」やり方で、利益を生み出す総合体育館として長期間持続可能であってほしい。 2. 県民の「楽しいから来る」ことを大事にしてほしいと思う。 	<p>○基本構想（案）において、施設の持続可能性について、「収益性に寄与することが期待できるコンサート・イベント等の多目的利用について、スポーツ利用を優先することを前提に積極的に活用するとともに、今後検討を行うPPP/PFI手法において附帯施設に民間活力を導入するなど、施設の持続可能性の観点にも十分留意しながら整備に向けた検討を進める必要がある。」（P50）としております。</p> <p>○具体的には、今後、整備・運営手法を検討する段階で施設の持続可能性にも最大限配慮し、詳細に検討してまいります。</p> <p>○新たな総合体育館の整備に当たっては、基本構想（案）において「その施設のデザインなどが本港区エリアにふさわしいものであることや、新たに展望スペースなどを設置することにより、桜島や錦江湾の眺望を楽しめる新たな空間を創出する方向で検討を進める。また、これにより、体育館利用者以外の集客を図り、本港区エリアの賑わいを創出し、同エリアの価値を高めることにつなげる。」（P45）とされています。</p> <p>具体的な意匠やデザイン等については、設計段階で検討してまいります。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・私の周りでドルフィンポート跡地への体育館建設を賛成している人は皆無です，県民の声に真摯に耳を傾けてください</p>	<p>○検討委員会においては，施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果，ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが，本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性，他の事業との関連も考慮し，ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。<u>（第6回検討委員会資料参照）</u> ○整備予定地選定の考え方については，資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・自然災害が発生した時にも対応できるような施設になってほしいものです。いざと云うときの避難場所などに活かせられるようにした方がよいと思います。</p>	<p>○検討委員会においては，防災上の課題を含む12の客観的な評価項目に基づき整備候補地の絞り込みの検討を行ったところであり，防災上の課題では，県土砂災害警戒区域等マップ，鹿児島市津波ハザードマップ及び県水害リスクマップをもとに，土砂災害，津波，洪水といった自然災害による影響について個別に検討を行ったところです。<u>（第6回検討委員会資料参照）</u> ○整備予定地のうち，施設本体を配置するドルフィンポート跡地については，県水害リスクマップにおいて，敷地のごく一部が0.5m未満の洪水浸水区域に含まれております。 基本構想（案）においては，「災害発生時における対応施設としての活用も考えられることから，これら想定される災害に十分対応できるよう，整備に向けた検討を進める必要がある。」（P49）としております。 ○具体的には，頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・「アスリートファースト」にするため，更衣室だけでなく，浴室・シャワールーム，ストレッチルームなど付帯設備も充実してほしい。・県大会が中心となるようだが，風雨をしのげ，コンディションよく待機できる空間設計をお願いしたい。・障がい者やトランスジェンダー，外国人などあらゆる属性の人たちが心地よく利用できるようトイレやシャワー室，サインなどの配慮をお願いしたい。</p>	<p>○更衣室など諸室については，「県大会をはじめ，全国・国際大会等の各種大会やコンサート・イベント等の開催に必要な規模を確保する。」（P13）としております。 ○基本構想（案）において，ユニバーサルデザインへの配慮について，「障害者や高齢者を含む全ての方々が安全で利用しやすい施設を目指すこととし，具体的には，今後，基本設計・実施設計の段階において，先進事例の対応状況も踏まえつつ，関係者等からの御意見も伺いながら，積極的に検討する。」（P48）としております。 ○具体的には，今後，障害者をはじめ様々な方々の御意見もお聞きしながら検討を進めてまいります。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・駐車場もイベント時は混雑するので右折からの侵入を禁止して、一方通行にて出入りしてほしいです。なので入口付近の道路には右折が出来ないようにポールを立てたり、駐車場内もなるべく明るい照明にしたり、最近の車は車幅が大きくなっているため車どうしの間隔も広く設けたり、軽自動車専用のフロアを作ったりして混雑や事故などが少ない駐車場作りもお願いしたいです。</p>	<p>○駐車場への出入口については、基本構想（案）において「周辺道路への交通影響の抑制と安全対策の観点から、原則として左折による出入を計画する。また、出入口の位置等については、歩行者動線と車両動線の交錯を避けるなど、動線の分離についても配慮することとする。」（P32）としており、具体的な対策等については、今後、道路管理者や交通管理者と調整を行いながら、検討してまいります。</p> <p>○駐車場については、基本構想（案）において、「住吉町15番街区に、県大会等のスポーツ大会やコンサート・イベント等の利用を想定した駐車台数として一般駐車場で500台程度、バス駐車場で50台程度を計画する。多目的広場を臨時駐車場として利用した場合の駐車台数は300台程度と想定する。また、新総合体育館近接に日常的な県民利用や関係者等の利用を想定した駐車台数として100台程度を計画し、障害者用駐車場については必要台数を確保する。大規模イベント開催時には、周辺の民間等駐車場（約2,270台）の利用も想定される。」（P30）とされたところです。</p> <p>○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・鹿児島市のサッカー専用スタジアム計画との関係も苦慮されるところですので、体育館とスタジアムの複合施設案を以下のとおり選択肢と提案申し上げます。</p> <p>5階建て前後の体育館・駐車場の上部にスタジアムを配し複合施設とするものです。その理由は</p> <p>① 大容積の体育館のような建物上空のスペース未利用、景観課題の解消 （体育館の上部がグラウンドとして有効活用され、緑の芝生で覆われる。城山展望台等からの眺望課題にも一考）</p> <p>② 2か所の大規模開発スペース候補を1か所に統合できる。</p> <p>③ 建設費用が、それぞれ別途建設する総額よりは抑えられる。</p> <p>④ 鹿児島県と鹿児島市の共同プロジェクトとして、2自治体協力のシンボルとなる。</p> <p>上記から判断しますと、私見では、住吉地区、鴨池地区を候補とすべきかと考えます。ただし、いずれの立地にも市電（2連結のLRT対応）の延伸を進めるべきと考えます。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・各関係団体の要望で利便性の高い土地にという意見がでてくることは当然だと思いますが、ドルフィンポート周辺は朝夕の時間帯に大変交通量が多くなります。また、祇園之洲や10号線も平日頃交通量が多く朝夕は渋滞となります。渋滞が発生しないようお願いいたします。</p> <p>また、鹿児島はサッカー王国であり、今般、神村学園の全国制覇も話題となっております。Jリーグチームやラグビートップリーグのキャンプ地にも選ばれており、間近でプロスポーツを見ることもできます。ぜひ、球技専用スタジアムと一体的な整備も検討していただきますようお願いいたします。</p> <p>・陸上競技場はあくまで陸上競技場として使用すべきであり、球技専用スタジアムの建設により、補助グラウンドを使用している陸上関係者の現在の状況が改善されることも期待しております。</p>	<p>○交通対策については、基本構想（案）において、「歩行者動線の確保や警備員・案内板等の配置による歩行者の誘導、移動時間の分散や中心市街地への誘導、公共交通の利用促進やシャトルバスの運行、施設や駐車場への出入口と動線の工夫による混雑抑制」について整理しているところです。（P32）</p> <p>○具体的な対策等については、今後、整備に向けた取組を進める中で、道路管理者や交通管理者とも調整を行いながら、検討することとしたいと考えております。</p> <p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>・県民の税金で建設するものです。しっかりと議論をし建設していただきたい。</p>	<p>○頂いた御意見も参考にさせていただき、基本構想（案）に、「整備に当たっては、施設の主な利用者である屋内スポーツ競技団体やまちづくりを所管する鹿児島市をはじめ、関係機関・団体と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。また、既存のスポーツ施設との連携・役割分担についても検討を進める必要がある。」（P50）を追加しました。</p> <p>○今後とも丁寧に検討を進めてまいります。</p>
<p>・体育館だけ作るのは、もったいないです。体育館、スタジアム等、飲食ブース、会議場、県民の方々が何時でも使用出来る飲食スペース（体育館0rスタジアム等）等々何時でも片方だと駄目です。</p>	<p>○新たな総合体育館については、他県施設との差別化や「みる」スポーツの視点から、競技スペース以外の部分（ホワイエ、飲食スペース等）や諸室・空間の環境整備等にも配慮して検討を進めることとしております。（P49）</p>
<p>・来たる桜島噴火災害時の耐震性。耐久性。新体育館が避難所としての指定を受けた場合、避難所として使用可能なのか。建設予定地は液状化の心配はないのか。</p>	<p>○検討委員会においては、防災上の課題を含む12の客観的な評価項目に基づき整備候補地の絞り込みの検討を行ったところであり、防災上の課題では、県土砂災害警戒区域等マップ、鹿児島市津波ハザードマップ及び県水害リスクマップをもとに、土砂災害、津波、洪水といった自然災害による影響について個別に検討を行ったところです。（第6回検討委員会資料参照）</p> <p>○整備予定地のうち、施設本体を配置するドルフィンポート跡地については、県水害リスクマップにおいて、敷地のごく一部が0.5m未満の洪水浸水区域に含まれております。</p> <p>基本構想（案）においては、「災害発生時における対応施設としての活用も考えられることから、これら想定される災害に十分対応できるよう、整備に向けた検討を進める必要がある。」（P49）としております。</p> <p>○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・鹿児島市長もサッカースタジアムと一体だと意見を述べられている。鹿児島ユナイテッドFCは、現在J3だがその集客力はJ3でもトップであり、今後の高みのステージでの活躍も期待され、その中でのサッカースタジアム整備も決して別物という考えはしていただきたくない。2万人規模のスタジアムが、並列であるスペースに適合できるのか慎重な協議が必要だが、いつまでも審議を重ねてもはじまらない。もし、並列で作るとしても公共交通機関の乗り入れ、同時にビッグなイベントが開催された際の警備、観客の入退場特に退場時のスムーズな人流は緻密なシミュレーションが必要である。また、アスリートファーストであるべき両施設がお互いの調整で開催日程を決めざるを得ないのももったいない気がする。個人的なサッカーファンからするとあの雄大な桜島を背景にしたスタジアムは、世界的にも誇れるスタジアムになりえるし、国際的なマッチメイキングも可能性を秘めている点では、将来有望であることを決して議論の外に置かないでほしい。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>・車社会である、スーパーマーケットの例も強く念頭に入れて田舎でもよいから駐車場のたっぷりとれる条件に立地を考えるべきである。条件をみたくような場所を詳しく調べていないのか。例えば伊集院の妙円寺団地あたりとか、平野の広い隼人、国分地区あるいは南薩地区でも広い場所はないのか。</p> <p>・テレビで委員の声をきいているとドルフィンポートは島からの船の便もよいと云っているが、新しい体育館に来る人は島からの人と、県内、県外の陸地から来る人の比重はどうなるのか。大きな体育館なら県外からの人も多いと思う。県の北部（県外）から皆荷物を沢山積んで車で来ます。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照）</p> <p>○新たな総合体育館の整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p> <p>○屋内運動部活動に所属する生徒のうち離島生徒（熊毛・奄美地域）の割合については、中学校、高校とも、全体の約1割となっております。これらの生徒は、大会終了後、船舶を利用し帰島しますが、ほとんどの競技において、出港に間に合わないことを理由とした表彰式の途中退席や延泊などの実態があります。</p> <p>このため、平等な競技環境を提供する観点から、港からのアクセスを重視する必要があるとしたところです。</p>
<p>・例えば宮崎に青島があります。あの青島の入口に体育館など建てたら周囲とのバランスはどうなるのでしょうか？ドルフィンポート地の海、桜島、港、船の景色は、仙巖園、城山からの景色と同じ、市民への観光客への癒しの役目をもっていると思います。体育施設はもっと広く場所とれて、駐車場が広い所を見当しなおしてほしい。</p>	<p>○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。</p> <p>○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。</p> <p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照）</p> <p>○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・祇園之洲、ドルフィンポート住吉地域の海岸線と船と海の青さと桜島の景色をのこしてほしい。サッカー場体育館は駐車場がもっと広くとれる場所に作ってほしい。例えば谷山地域でいいのでは。鹿児島県は車社会であると思います。</p>	<p>○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。</p> <p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照）</p> <p>○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・アリーナのような閉鎖的な建物よりオープンのサッカー場は良いです。外国の建物も参考にして、南国鹿児島にふさわしい設備を願いたい。近くに舟中で遊べる場所も（桜島フェリーを一そう横着にしたりして。）</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>・駐車場の点からもっと広くとれる場所が必要だと思う。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照）</p> <p>○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・体育館という縛りではなく、色んな人が集える場所など、県民にとって有効活用してほしいです。</p>	<p>○基本構想（案）において、施設のコンセプトは、「スポーツをする人もしない人も様々な年代の人々が交流できる施設」（P5）としております。</p> <p>○また、施設の整備に当たっては、「近年、国等において、アリーナは、まちとの連続性を確保するとともに、周辺に質の高いオープンスペースを配置するなど、施設の外でも賑わいを創出する開かれた施設とすることが望ましい」（P46）とされています。</p> <p>○最近整備されている類似施設においても、様々な人々が利用できる公共空間を施設内外に整備する事例がみられることから、「本港区エリアの立地を活かし、スポーツ大会等の施設利用者のみならず、県民や観光客が気軽に立ち寄り、回遊できる仕組みを検討することとし、具体的には、多目的広場やアプローチ空間、エントランスや展望スペースなどを活用し、カフェやイベント等にも利用可能な交流スペースを設けるなど、開かれた施設としての整備を検討する」（P46）こととしております。</p> <p>○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・駐車場がもっと広くとれる所がいいと思う。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照）</p> <p>○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・総合体育館については、ドルフィンポート跡地に鹿児島市が計画をしている球技専用スタジアムとの一体整備をすべきだと思います。</p> <p>総合体育館及びスタジアムを一体整備することで、両施設建設のイニシャルコスト及び管理等のランニングコストの削減につながるとともに、電気水道など設備の共有も図れると思います。</p> <p>また、スタジアム予定地の可能性がある住吉町15番街区の埋立費用が不要となり、仮にスタジアムを住吉町15番街区に整備した際必要となるであろう、県営駐車場の整備費用も不要となります。</p> <p>県と市を分けて考えるのではなく、両施設を設置することを前提に、総額で一番負担の少ない方法を検討してもらいたいです。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>・景観が良く、鹿児島の超一等地である本港区への体育館建設することは反対である。県民や国内外の人々が楽しめる施設を県・市が一体化となって作ってほしい。アイデア出しについては国内外から公募して新しい視点で考えてほしい。</p> <p>・新たな体育館はスポーツ施設が集積している鴨池地区が良いのではないか？体育館に本港区の景観の良さは必要ない（もったいない）</p>	<p>○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。</p> <p>○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。</p> <p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照）</p> <p>○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・体育館横でもいいですので2021年東京五輪で注目を浴びたBMXやスケボーが乗れるセクションを設置してほしいです。今、鹿児島もBMXやスケボーが再ブームであちこちで見かけますが実際、安心して乗れる場所が鹿児島市にはないので宮崎市祀園にあるようなBMXやスケボーが乗れる施設を希望します。</p>	<p>○頂いた御意見も参考にさせていただき、基本構想（案）に、「若者がスポーツに関心を持てる仕組みづくり（スポーツライミングなど、ニュースポーツ等への対応）」（P13）、「屋外における県民の健康増進（ヘルス）サービス機能や若者がスポーツに関心を持てる仕組みづくりとして、散歩・ランニングコースやスケートボード・BMXなどのニュースポーツへの対応を検討する。」（P29）を追加しました。</p> <p>○具体的には設計段階で検討してまいります。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・呼びやすい、かっこいい名前にしてほしいです。これから鹿児島のシンボルとなるような体育館にしてほしいです。</p>	<p>○施設の名称については、これまで「総合体育館」の名称で検討を行っていましたが、「総合体育館基本構想検討委員会」において、スポーツ振興の拠点としての機能に加え、多目的利用による交流拠点機能を有する施設コンセプトにふさわしい名称とすべきとされ、同委員会の基本構想（案）においてもその旨が盛り込まれたことから、一般的な名称として「スポーツ・コンベンションセンター」に変更することとしました。</p> <p>○なお、施設の固有の名称については、ネーミングライツの取扱も含め、施設の竣工までに検討することとしています。</p> <p>○頂いた御意見を参考にさせていただき、基本構想（案）に、「まちづくりの拠点としてだけでなく、県民が誇れる施設となるとともに、様々な人々から永年に渡り親しまれ、愛着を持たれる鹿児島のシンボリックな施設となるよう、整備に向けた検討を進めることとする。」（P48）を追加しました。</p> <p>○具体的には設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・県の体育館は既存の施設を考慮してつながりを考えてほしいです。各施設をバラバラに考えるのではなく、ひとつのまとまったものとして考えていただけるとうれしいです。</p>	<p>○関係者との連携については、基本構想（案）において「施設の主な利用者である屋内スポーツ競技団体やまちづくりを所管する鹿児島市をはじめ、関係機関・団体と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としております。</p> <p>また、基本構想（案）に「既存のスポーツ施設との連携・役割分担についても検討を進める必要がある。」（P50）を追加し、今後検討を進めていくこととしております。</p>
<p>・単なる体育館であれば本港区のような一等地には必要ないと思います。アリーナや国際会議場の役割があるのであれば理解できますが、現在の案では規模が小さいと思います。大規模でなければ、有名なアーティスト等は来てくれません。鹿児島アリーナなど他の施設との違いがなければ、他施設の利用者が減るだけになってしまうのではないかと危惧します。</p>	<p>○新たな総合体育館については、スポーツ振興の拠点機能とコンサート・イベント等の多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>施設のフロア面積は全国・国際大会の誘致が可能な規模とし、観客席については、これに加え、プロモーターの意見を参考にコンサート需要を踏まえ8千席程度を想定しております。</p> <p>一般社団法人アリーナスポーツ協議会が示した「アリーナ標準」において、鹿児島アリーナは「小規模アリーナ」、新たな総合体育館は「中規模アリーナ」に分類されるなど、両施設は規模が異なることから、各種スポーツ大会やイベント・コンサート等の規模に応じて、相互に連携・補完してまいりたいと考えております。</p>
<p>・ドルフィンポート跡地周辺、桜島棧橋、三島や十島及び種屋久航路、大島航路の港湾整備などなど、ウォーターフロントの一体的なビジョンを示すべきだ。建設するスペース探しがメインになっており、残り少ないスペースの取り合いになっている。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりについては、平成31年2月に「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を策定しており、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、同グランドデザインに基づき、事業者公募で検討していた宿泊機能等はもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について 〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・鹿児島でも SDGs が言われております。少子化で体育館の利用も減少するでしょうし、今後財政もより厳しくなっています。基本的に既存の新設よりも既存施設を活かしていただきたい立場です。</p> <p>ですが、ドルフィンポート跡地に建設するというのなら、景観を大切にしてほしいです。建物の高さは何メートル、幅は何メートルになる予定でしょうか？</p> <p>・ウォーターフロントパークも県民の憩いの場となっております。休日のイベントには多くの人が集まります。こちらの広場はまさに誰でも無料で楽しめる、開かれた県民の共有財産、いわゆる「コモン」です。こちらもこれまでのように使いやすいものとしてください。</p> <p>・スタジアムについても、今後市と協議されるかと思いますが、本港周辺ではなく別の場所でいいかと思います。</p> <p>・新幹線での移動を考えたら薩摩川内、空港からの近さだと霧島市もあります。狭い鹿児島市にこれ以上大規模な施設が必要か、議論すべきです。</p> <p>どうぞよろしくお願い致します。</p>	<p>○基本構想（案）において、施設の持続可能性について、「収益性に寄与することが期待できるコンサート・イベント等の多目的利用について、スポーツ利用を優先することを前提に積極的に活用するとともに、今後検討を行う PPP / PFI 手法において附帯施設に民間活力を導入するなど、施設の持続可能性の観点にも十分留意しながら整備に向けた検討を進める必要がある。」（P50）としております。</p> <p>○具体的には、今後、整備・運営手法を検討する段階で施設の持続可能性にも最大限配慮し、詳細に検討してまいります。</p> <p>○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。</p> <p>○施設の高さについては、基本構想において「景観計画に規定する建築物等の高さの限度を超えないものとする。」（P25）とされております。なお、現在想定している施設の規模と同規模の類似施設の高さは、25m～30m程度であり、市の景観計画には影響しないものと考えております。</p> <p>○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。</p> <p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p> <p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照）</p> <p>○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・単なるご意見ということですから書くのは無駄なのですが、体育館のごとき施設は中山の運動公園の山側を造成して建てるなど、市街地とある程度距離を置くべきでしたね。市民のスポーツに対する関心の喚起は体育館との物理的な距離には依らないはず。どうしても海際に作るのであれば、役立たず広場と化しているかんまちあをブツ潰してそこに建てればよかった。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照）</p> <p>○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・ドルフィンポート跡地並びに住吉町 15 番街区周辺は、ご存知のとおり鹿児島市が市電路線新設も予定しています。</p> <p>また、サッカースタジアム建設の希望もありますので、どうか鹿児島市の意見も聞いていただきたいと思います。現状は、鹿児島市から正式な提案等が無い状況で、意見交換（キャッチボール）さえも成り立っていないことは報道等で承知しております。</p> <p>ただ、今後の鹿児島の未来のためにも正式な決定（工事着工）は必ず鹿児島市の意見、意向を汲んだうえで行っていただきたいと強く思います。</p> <p>この問題は、2009 年から一向に前進しない印象があります。県と市では組織が違うので意見集約が難しい点もあると思いますが、もうそろそろ県と市がお互いに協力して鹿児島の未来を切り開いてほしいです。十分な議論が行われているようには見えないので、まずは今後の活発な議論を期待しています。</p> <p>新総合体育館にサッカースタジアムと市電路線新設が加われば想像以上の波及効果が得られると思います。</p> <p>ご検討の程、宜しくお願ひ致します。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p> <p>○本港区エリアのまちづくりについては、平成 31 年 2 月に「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を策定しており、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、同グランドデザインに基づき、事業者公募で検討していた宿泊機能等のもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。</p>
<p>・せっかくなので、国体に間に合うように急ピッチで進めて下さい！楽しみにしています。</p>	<p>○新たな総合体育館の整備に当たっては、他県の類似施設の事例では、基本構想の策定後、基本設計に 1 年、実施設計に 1 年、建設工事に 3 年、計 5 年の期間を要しているところであります。今後の検討や建設に要する期間を勘案しますと 2023 年の国体までの完成は難しいものと考えております。県としては、引き続き、新たな総合体育館の整備に向けて着実に取り組んでまいります。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・価格競争、値下げ勝負にならないスタジアムを 現在鹿児島を除く九州圏内には 48 のスタジアム・アリーナがあります。加えて現在政府政策により、全国各地でさらに新規のスタジアム計画が進行しております。中にはホテルや商業施設といった複合施設を併設した利便性の高い施設も増加しております。今、鹿児島のスポーツ施設計画に必要とされるのは他県と同様の安パイな策ではなく、特色ある土地の魅力を活かす為の特色ある方策であると考えます。 ・鹿児島は世界から日本に訪れる「南の玄関口」になりうると考えます。 また豊富に有する資源（農林水産資源、人文資源、自然資源）に高い付加価値をつけて国内外の来訪者により多くの機会を提供し、魅力を伝え、評価を得ていくことで、「自ら稼ぐ力」「ブランド力」を鍛えることができます。鹿児島には既に素晴らしい素材が揃っています。来訪のきっかけがスポーツであっても大規模イベントであっても旅行であっても、地域の産物を使い、手間隙をかけ高い付加価値を付けて提供し、魅力を実感させる（そして口コミやリピーターで波及させる）という原則を守れば、自ずと経済は好循環すると思えます。テナント事業者の選定においても、地域産品をどれだけ使っているか、どれだけ雇用創出をしているかといった、売上高よりもその先の経済効果をぜひご一考いただきたいと思えます。 ・鹿児島市内だけでなく、離島を含む県遠隔地にあえて作ることでその地域経済の起爆剤とするのも良いのではないかと考えます。 	<p>○本港区エリアのまちづくりについては、平成 31 年 2 月に「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を策定しており、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、同グランドデザインに基づき、事業者公募で検討していた宿泊機能等のもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。</p> <p>○新たな総合体育館については、本港区エリアに調和した施設のデザイン、展望スペースの設置などを検討するとともに、他県施設との差別化や「みる」スポーツの視点から、競技スペース以外の部分（ホワイエ、飲食スペース等）や諸室・空間の環境整備にも配慮して検討を進めることとしており、御提案についても参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・景観に懸念を抱く県民のために、今回影響が軽微であることを CG で示した当局の準備は秀逸であった。 これまで鹿児島における開発は、反対意見に配慮した結果、中途半端なものに終わる事例が多く見られる。今回も景観への配慮の結果、現状の案ではメインの体育館施設のみで精一杯と思われる。このままでは普段「体育館」に足を運ばない県民にとっては何も利益を享受しないただの「箱」になり、ますます大規模施設への不信感を生むと考える。世界の潮流はアリーナやスタジアム単体ではなく、同敷地内に商業施設や飲食施設、ホテルやオフィスなどを併設し、「体育館」が稼働しない日や利用しない人も含め、常に人が集まる施設。「体育館」利用者以外も行きたくなる施設であってこそ、「一等地」にふさわしいアリーナになり、本当の意味での回遊性と中心市街地活性化につながる。そのためには多少ウォーターフロントパーク敷地に入り込んでもやむを得ないと考える。 ・サッカースタジアムも併設できれば、世界に誇れるロケーションのスポーツ施設になるのでは。サマーナイト花火の観覧席としても利用できる。 	<p>○本港区エリアのまちづくりについては、平成 31 年 2 月に「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を策定しており、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、同グランドデザインに基づき、事業者公募で検討していた宿泊機能等のもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。</p> <p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P 50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・体育館の場所に異論はないが、体育館のNHK側は、緑地公園でなくて体育館の駐車場にすべき、スポーツ大会等は、子供の送迎や荷物の運搬等がある。駐車場はできるだけ近くで、多くの台数が停まるようにすべき。体育館だけで800台。サッカー場は600台。・職員駐車場や役員駐車場は、体育館から少し遠い場所にすべき。利用者ファーストが一番だと思う。・サッカー場は住吉14番街区にサッカー場と駐車場を含めて整備した方がいいと思う。・種子・屋久高速船のターミナルを使用する車の駐車場は、長期間駐車が多いと思われるので、県営第4側に船の利用者の駐車場に集約すべき。サッカー場が住吉に決まれば、種子・屋久高速船のターミナル前の県営第6駐車場が一番皆が利用する駐車場になるので、県営第6駐車場は、体育館及びサッカー場を利用する車優先にすべき。・将来の市電延伸も考慮した配置にすべき、私が考える市電延伸は天文館から鹿児島水族館前からウォーターフロントパーク沿いに伸びて、突き当りを右にまがるコースがいいと思う。・商業施設も体育館と種子・屋久高速船のターミナルの間辺りに設置してほしい。大会等あれば、弁当や飲食店が必要。種子・屋久高速船のターミナルを立て替えて商業施設を集積できたらいいと思う。</p>	<p>○駐車場については、基本構想（案）において、「住吉町15番街区に、県大会等のスポーツ大会やコンサート・イベント等の利用を想定した駐車台数として一般駐車場で500台程度、バス駐車場で50台程度を計画する。多目的広場を臨時駐車場として利用した場合の駐車台数は300台程度と想定する。また、新総合体育館近接に日常的な県民利用や関係者等の利用を想定した駐車台数として100台程度を計画し、障害者用駐車場については必要台数を確保する。大規模イベント開催時については、周辺の民間等駐車場（約2,270台）の利用も想定される。」（P30）とされたところです。</p> <p>○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。</p> <p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p> <p>○本港区エリアのまちづくりについては、平成31年2月に「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を策定しており、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、同グランドデザインに基づき、事業者公募で検討していた宿泊機能等は今もとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・「新たな総合体育館」という呼び方で計画を進めることが、県民の機運を高める足かせになっていると思います。</p> <p>体育館なら今の県体育館の前の鴨池ドームを壊して立てればといったように、今ある従来の体育館の建て替えのイメージでしか捉えていない県民が思っている以上にいます。</p> <p>呼び方から変えて、街が変化するような夢のあるアリーナを作るんだというイメージももっと伝えてほしい。そうすることで、街近くにある意味・球技専用スタジアムと隣接する意味、鹿児島府の新たな姿とともに広く周知して盛り上げてほしい。</p> <p>計画中の長崎のサッカースタジアム、日本ハムファイターズの野球スタジアムのように従来の考え方に囚われない考え方で作られるものの情報を参考に、県民の既成概念を壊す発信も大事だと考えます。あそこまで華美ではなくても、まちとの関りや錦江湾・桜島との関りで世界に1つの誇れる新たな体育館・スタジアムを作ることできるポテンシャルを持っているのは明らかです。夢のあるビジョンを県民と共有する情報発信に物足りなさを感じます。</p>	<p>○施設の名称については、これまで「総合体育館」の名称で検討を行っていましたが、「総合体育館基本構想検討委員会」において、スポーツ振興の拠点としての機能に加え、多目的利用による交流拠点機能を有する施設コンセプトにふさわしい名称とすべきとされ、同委員会の基本構想（案）においてもその旨が盛り込まれたことから、一般的な名称として「スポーツ・コンベンションセンター」に変更することとしました。</p> <p>○なお、施設の固有の名称については、ネーミングライツの取扱も含め、施設の竣工までに検討することとしています。</p> <p>○基本構想（案）において、施設のコンセプトは、「スポーツをする人もしない人も様々な年代の人々が交流できる施設」（P5）としております。</p> <p>○また、施設の整備に当たっては、「近年、国等において、アリーナは、まちとの連続性を確保するとともに、周辺に質の高いオープンスペースを配置するなど、施設の外でも賑わいを創出する開かれた施設とすることが望ましい」（P46）とされています。</p> <p>○最近整備されている類似施設においても、様々な人々が利用できる公共空間を施設内外に整備する事例がみられることから、「本港区エリアの立地を活かし、スポーツ大会等の施設利用者のみならず、県民や観光客が気軽に立ち寄り、回遊できる仕組みを検討することとし、具体的には、多目的広場やアプローチ空間、エントランスや展望スペースなどを活用し、カフェやイベント等にも利用可能な交流スペースを設けるなど、開かれた施設としての整備を検討する」（P46）こととしております。</p> <p>○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について 〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・BMX やスケートボードで使用することのできる競技用のパークの建設が出来れば…</p> <p>・県内の施設としては加世田の公共施設がありますが、初心者は練習することが難しく、上級者は上達しないという施設になっています。私は宮崎市の施設を建設する際に当時のスポーツ振興課の皆さんと一緒にイベントを開いて署名を集めて現在の施設を作って頂いた経緯があります。この施設ができた事により、アーバンスポーツの人口の増加、若者の人口流出の抑制、健康維持、県内スポーツシーンの活性、広島で行われた FISE（世界大会）での入賞等とてもいい効果を生み出しています。</p> <p>また、今年4月23.24.25には日本初開催となる XGAM E が千葉で開催されます。この大会は、するスポーツである BMX、スケートボードが、観るスポーツとして認知される大会にもなります。この事により益々両競技の人口は増えていくと予想されます。また、数年ほど前ではありますが有名なスポーツドリンクメーカーが南九州が弱いので南九州に力を入れたいと話していました。</p> <p>今後のニーズや競技人口の拡大を見越すと現在の施設では対応不可な状況になるだろうと思います。それこそ街中で練習する競技者も増えてくると思います。</p> <p>私個人としては、素晴らしい景観の鹿児島島の桜島をバックに、するスポーツ、観るスポーツ、支えるスポーツとして世界に誇れる世界一の施設を作って頂けたらと思います意見させていただきました。</p>	<p>○頂いた御意見も参考にさせていただき、基本構想（案）に、「若者がスポーツに関心を持てる仕組みづくり（スポーツライミングなど、ニュースポーツ等への対応）」（P13）、「屋外における県民の健康増進（ヘルス）サービス機能や若者がスポーツに関心を持てる仕組みづくりとして、散歩・ランニングコースやスケートボード・BMXなどのニュースポーツへの対応を検討する。」（P29）を追加しました。</p> <p>○具体的には設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・ドルフィンポート跡地及び住吉町15番街区を選定するのは、間違った判断だと思う。農業試験場跡地が最も適切と考える。ドルフィンポート跡地は、鹿児島市が整備を検討するサッカー等スタジアム用地として検討するのが良い。8千席程度を見込む体育館よりも、最低でも1万5千席を見込むサッカー等スタジアムのほうが、鹿児島県・鹿児島市の中心市街地たるエリアにふさわしい、経済波及の能力を備えていることは明らかである。景観についても配慮したとあるが、どの視点からの景観なのか曖昧を感じる。現地に行ってみれば明白だが、進行方向正面に桜島をとらえることが出来るのは、主要なアクセス道路の中では、朝日通りのみである。その朝日通りですら産業会館や中央病院等により景観の主たる桜島の全体は見る事ができない。マイアミ通りの直線上に桜島はないし、そのマイアミ通りを抜けたところで、現行案の南側立地が景観の邪魔をしてしまう現実を考えれば、景観配慮の根拠はきわめて曖昧を感じる。何より忘れてならないのは、桜島の景観・眺望を求めるときにわざわざ〇〇通りに行くだろうか？それらを求める人々が訪れるのは、城山の展望所であり、長島美術館であり、ウォーターフロントパークだ。景観眺望に配慮すればこそ、それに最適化された施設を整備するほうが適切ではないだろうか？</p> <p>エンターテインメントの興行も想定する施設においては、競技面だけの検討ではいけないことは認識していただいていると思う。</p> <p>このプロジェクトだけでなく、同様のほかのプロジェクトとも連携し、県、街全体のためどういう判断が望ましいのかを検討してほしい。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照）</p> <p>○新たな総合体育館の整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p> <p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p> <p>○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。</p> <p>○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・天文館との回遊性や桜島や本港区との利便性を考えると、ドルフィン跡地への整備は賛成です。鹿児島市になかった大規模なコンベンションを開催できる施設の整備を期待します。</p> <p>また、相乗効果を高めるためにもサッカースタジアムの併設を期待します。総合体育館とスタジアムが市街地に近い同候補地にあれば、大規模なイベントやラグビー・サッカーキャンプの誘致などで県全体への波及効果が見込めるものと夢を見ます。</p> <p>全く進展のみられなかったものが、塩田知事になってから着実に見えるようになったと感じています。ぜひ、市との連携をいただき、夢のある総合体育館の整備をお願いいたします。</p>	<p>○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいります。</p> <p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>・造るからには、全国から視察が殺到するような素晴らしい施設にしていきたい。</p>	<p>○頂いた御意見を参考にさせていただき、基本構想（案）に、「県民に愛され、県民の誇りとなる施設として、まちづくりの拠点としてだけでなく、県民が誇れる施設となるとともに、様々な人々から永年に渡り親しまれ、愛着を持たれる鹿児島市のシンボリックな施設となるよう、整備に向けた検討を進めることとする。」（P48）を追加しました。</p> <p>○具体的には設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・既設体育館がある下荒田、与次郎、鴨池地区についても、鹿児島市と共に特色ある屋外総合スポーツ拠点としての集積を進めるなど、既存の鹿児島ふれあいスポーツランドや鹿児島（西原商会）アリーナといった市内、県内に点在する施設とも協調したスポーツ振興の推進及び官民一体となった快適な利用環境提供による交流拠点の創出を図り、本県に発展と活力増進をもたらすとの総合的、将来的な視点に立った施策の永続的展開を切望。</p> <p>・鹿児島市が進めるサッカー等スタジアム整備に関しては、上記のような総合的な将来ビジョンに沿っての対応、協議を切望。</p> <p>・近年多発する災害発生時、発生後の人的、物的影響の軽減にも繋がる機能を備えた施設ネットワークの構築を切望。</p>	<p>○既存施設との連携については、基本構想（案）に「既存のスポーツ施設との連携・役割分担についても検討を進める必要がある。」（P50）を追加し、今後検討を進めていくこととしております。</p> <p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p> <p>○検討委員会においては、防災上の課題を含む12の客観的な評価項目に基づき整備候補地の絞り込みの検討を行ったところであり、防災上の課題では、県土砂災害警戒区域等マップ、鹿児島市津波ハザードマップ及び県水害リスクマップをもとに、土砂災害、津波、洪水といった自然災害による影響について個別に検討を行ったところです。（第6回検討委員会資料参照）</p> <p>○整備予定地のうち、施設本体を配置するドルフィンポート跡地については、県水害リスクマップにおいて、敷地のごく一部が0.5m未満の洪水浸水区域に含まれております。</p> <p>基本構想（案）においては、「災害発生時における対応施設としての活用も考えられることから、これら想定される災害に十分対応できるよう、整備に向けた検討を進める必要がある。」（P49）としております。</p> <p>○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・鴨池に近く駐車場も県庁に有るので県庁前の土地に体育館を作るのが良いと思います。 	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照）</p> <p>○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館使用時における車両乗入れ規制考慮して、周辺の交通渋滞を起こさないような交通計画を希望します。 	<p>○交通対策については、基本構想（案）において、「歩行者動線の確保や警備員・案内板等の配置による歩行者の誘導、移動時間の分散や中心市街地への誘導、公共交通の利用促進やシャトルバスの運行、施設や駐車場への出入口と動線の工夫による混雑抑制」について整理しているところです。（P32）</p> <p>○具体的な対策等については、今後、整備に向けた取組を進める中で、道路管理者や交通管理者とも調整を行いながら、検討することとしたいと考えております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ①鹿児島市と連携をとって、悔いのない素晴らしい体育館になってほしいですね。 ②国際会議場は、当然海外からの研究者が集まって研究発表をしたりする場所ですよね。県が建設をする必要ないと思います。城山ホテルやサンロイヤルホテル等を活用された方が民間活力を生かして地元振興にもつながると思います。 	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の候補地は、鹿児島の顔になる場所に位置し、これからの鹿児島県の方向性を示せる絶好の場所。まずは、県全体をどういう方向にこれから未来に向かってもっていくのかを決めてから、空間を創るべき。 ・ドルフィンポート跡に何かを造るとしたら、限りなく地面と平行に近い緩やかな丘の下に、半地下の桜島の向かってガラス張りの建造物。建造物の中でも上でも、いろいろな用途に使えるシンプルなものがいいと思います。 	<p>○基本構想（案）においては、「その施設のデザインなどが本港区エリアにふさわしいものであることや、新たに展望スペースなどを設置することにより、桜島や錦江湾の眺望を楽しめる新たな空間を創出する方向で検討を進める。」（P45）としており、具体の意匠やデザイン等については、設計段階で検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・体育館だけではなく、サッカースタジアムと一緒に計画を立ててほしいです。 	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・新体育館へ集う方々のマナー（騒音やゴミ捨て等） 	<p>○大規模イベント開催時の来場者の騒音等については、今後、イベント主催者や関係機関とも連携しながら運営面での対策を検討することとしたいと考えております。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・今からでも「賑わいのある街造りとは何か。WFには何を造れば鹿児島の活力推進にはベストなのか、鹿児島が元気になる対策は何か」を考えて、委員会で再度議論し長期的な視野に立つ施設造りに取り組んでほしい。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりについては、平成31年2月に「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を策定しており、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、同グランドデザインに基づき、事業者公募で検討していた宿泊機能等のもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。</p>
<p>・鹿児島に来た時に訪れたいような場所、県民もしばしば訪れたいような場所、そのような場所にドルフィンポート跡地や住吉町15番街区はなるべきではないかと私は思う。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりについては、平成31年2月に「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を策定しており、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、同グランドデザインに基づき、事業者公募で検討していた宿泊機能等のもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。</p>
<p>・一流のスポーツやエンターテイメントに触れることができるということは、子供たちや孫たちにとって、心の財産となることは間違いありません。子供たちや若者たちが、鹿児島に生まれて良かったと思える街づくり、施設づくりを心から期待。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p> <p>○本港区エリアのまちづくりについては、平成31年2月に「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を策定しており、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、同グランドデザインに基づき、事業者公募で検討していた宿泊機能等のもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。</p>
<p>・体育館は谷山方面の新しいスポットとして建設すべき。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照）</p> <p>○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・最悪ドルフィン跡地に建設することになりましたら、海に沿って遊歩道を作ってください、海・桜島を楽しめるようにお願いします。</p>	<p>○頂いた御意見を参考にさせていただき、基本構想（案）に「競技者以外でも気軽に来場できる仕組みづくり（例：魅力ある展望スペース、ファミリーシート、足湯などの癒やしの空間）」（P13）を追加しました。</p> <p>○具体的に設計段階で検討してまいります。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・ドルフィンポート全体から見る桜島、パノラマ的景観を残してほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・都市農業のある広々とした土地に体育館をつくってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・熊本城の近くに体育館をつくったら、お城の値打ちが下がります。鹿児島市の熊本城は桜島のはずです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。 ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・新総合体育館の整備値は経済波及効果等も踏まえて鹿児島市の北西部（例えば郡山）から南西部（谷山松元方面）が妥当な地域は如何でしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと広い範囲に候補地を広げて車にでもバス、電車の便もかなう場所をさがしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・霧島市にも広大な敷地も、空港、高速と近くあり、景観を損ねることもなく、便利だと思います。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・ドルフィンポート以外の広い土地にお願いしたい。ドルフィンポートの所に作れば山形屋まで渋滞する。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p> <p>○交通対策については、基本構想（案）において、「歩行者動線の確保や警備員・案内板等の配置による歩行者の誘導、移動時間の分散や中心市街地への誘導、公共交通の利用促進やシャトルバスの運行、施設や駐車場への出入口と動線の工夫による混雑抑制」について整理しているところです。（P32） ○具体的な対策等については、今後、整備に向けた取組を進める中で、道路管理者や交通管理者とも調整を行いながら、検討することとしたいと考えております。</p>
<p>・ドルフィンポートよりたとえば、谷山、松元、始良、国分でもよいのでは？</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・県の体育館なので、もっと広い場所、駐車場を広くとれる所に作ってほしい。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・谷山，松元，始良方面と広い土地で考えられたら・・・。</p>	<p>○検討委員会においては，施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果，ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが，本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性，他の事業との関連も考慮し，ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については，資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・空港近くではどうでしょうか。</p>	<p>○検討委員会においては，施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果，ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが，本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性，他の事業との関連も考慮し，ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については，資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・総合的なスポーツ施設として，利用出来る様に，空港近くが，最適なのは。 ・谷山地区農業試験場跡などは？</p>	<p>○検討委員会においては，施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果，ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが，本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性，他の事業との関連も考慮し，ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については，資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・もっと広い土地の場所でもいいのでは・・・</p>	<p>○検討委員会においては，施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果，ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが，本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性，他の事業との関連も考慮し，ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については，資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・応援者も同じ展望ステージにてゆっくり温泉スペースがあれば最高。無理なら足湯。鹿児島市との有効な話し合いでまず本格決定，早期着工への前進をお願いします。</p>	<p>○頂いた御意見を参考にさせていただき，基本構想（案）に「競技者以外でも気軽に来場できる仕組みづくり（例：魅力ある展望スペース，ファミリーシート，足湯などの癒やしの空間）」（P13）を追加しました。 ○具体的に設計段階で検討してまいります。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・検討委員会の皆様が複数回真剣に検討を重ね基本構想（案）の作成に取り組んでこられたことに敬意を払います。きちんと民意を反映した素晴らしい提案だと思います。「必要なものは必要」です！鹿児島市との連携を早急に進め早期着工を祈念して止みません。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p> <p>○本港区エリアのまちづくりについては、平成31年2月に「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を策定しており、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、同グランドデザインに基づき、事業者公募で検討していた宿泊機能等もとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。</p>
<p>・名称は公募してほしいです。命名権などを売るのはやめていただきたいです。</p>	<p>○施設の名称については、これまで「総合体育館」の名称で検討を行っていましたが、「総合体育館基本構想検討委員会」において、スポーツ振興の拠点としての機能に加え、多目的利用による交流拠点機能を有する施設コンセプトにふさわしい名称とすべきとされ、同委員会の基本構想（案）においてもその旨が盛り込まれたことから、一般的な名称として「スポーツ・コンベンションセンター」に変更することとしました。</p> <p>○なお、施設の固有の名称については、ネーミングライツの取扱も含め、施設の竣工までに検討することとしています。</p>
<p>・身障者のみなさんも気軽にいけるような体育館になってほしい。</p>	<p>○基本構想（案）において、ユニバーサルデザインへの配慮について、「障害者や高齢者を含む全ての方々が安全で利用しやすい施設を目指すこととし、具体的には、今後、基本設計・実施設計の段階において、先進事例の対応状況も踏まえつつ、関係者等からの御意見も伺いながら、積極的に検討する。」（P48）としております。</p> <p>○具体的には、今後、障害者をはじめ様々な方々の御意見もお聞きしながら検討を進めてまいります。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・ドルフィン跡地はいこいの場所にふさわしい。施設としては多目的施設程度ではどうでしょう。</p>	<p>○基本構想（案）において、施設のコンセプトは、「スポーツをする人もしない人も様々な年代の人々が交流できる施設」（P5）としております。</p> <p>○また、施設の整備に当たっては、「近年、国等において、アリーナは、まちとの連続性を確保するとともに、周辺に質の高いオープンスペースを配置するなど、施設の外でも賑わいを創出する開かれた施設とすることが望ましい」（P46）とされています。</p> <p>○最近整備されている類似施設においても、様々な人々が利用できる公共空間を施設内外に整備する事例がみられることから、「本港区エリアの立地を活かし、スポーツ大会等の施設利用者のみならず、県民や観光客が気軽に立ち寄り、回遊できる仕組みを検討することとし、具体的には、多目的広場やアプローチ空間、エントランスや展望スペースなどを活用し、カフェやイベント等にも利用可能な交流スペースを設けるなど、開かれた施設としての整備を検討する」（P46）こととしております。</p> <p>○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・ドルフィン跡地からの広い景色はなくさないでいただきたい。</p>	<p>○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。</p> <p>○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。</p>
<p>・長く、県民又は、他県のみなさんに愛される鹿児島のカラーを出した体育館にしてほしい。</p>	<p>○頂いた御意見を参考にさせていただき、基本構想（案）に、「県民に愛され、県民の誇りとなる施設として、まちづくりの拠点としてだけでなく、県民が誇れる施設となるとともに、様々な人々から永年に渡り親しまれ、愛着を持たれる鹿児島の子どものシンボリック施設となるよう、整備に向けた検討を進めることとする。」（P48）を追加しました。</p> <p>○具体的には設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・大会関係者だけでなく地域住民にも気軽に寄れる場所になってほしい。</p>	<p>○基本構想（案）において、施設のコンセプトは、「スポーツをする人もしない人も様々な年代の人々が交流できる施設」（P5）としております。</p> <p>○また、施設の整備に当たっては、「近年、国等において、アリーナは、まちとの連続性を確保するとともに、周辺に質の高いオープンスペースを配置するなど、施設の外でも賑わいを創出する開かれた施設とすることが望ましい」（P46）とされています。</p> <p>○最近整備されている類似施設においても、様々な人々が利用できる公共空間を施設内外に整備する事例がみられることから、「本港区エリアの立地を活かし、スポーツ大会等の施設利用者のみならず、県民や観光客が気軽に立ち寄り、回遊できる仕組みを検討することとし、具体的には、多目的広場やアプローチ空間、エントランスや展望スペースなどを活用し、カフェやイベント等にも利用可能な交流スペースを設けるなど、開かれた施設としての整備を検討する」（P46）こととしております。</p> <p>○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・総合体育館を訪れた方がゆっくり出来るいやしの場所にしてほしい。温泉施設もできるといい。</p>	<p>○頂いた御意見を参考にさせていただき、基本構想（案）に「競技者以外でも気軽に来場できる仕組みづくり（例：魅力ある展望スペース、ファミリーシート、足湯などの癒やしの空間）」（P13）を追加しました。 ○具体的に設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・いろんな用途に使用可能な総合体育館になるとうれしい。</p>	<p>○新たな総合体育館については、屋内スポーツ競技の中核的な施設（聖地）として、県大会をはじめとする各種大会の円滑な運営や、全国・国際大会の誘致が可能な施設とするとともに、これに加え、コンサート・イベント等の開催を通じ、スポーツをしない人も、また、様々な年代の人々が交流できる施設として検討を進めることとしております。</p>
<p>・交通機関の整備も同時に考えて下さい。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>・バレー、バスケットボール、卓球など同時に試合が進行出来るように大きな体育館を建設してほしい</p>	<p>○新たな総合体育館は、基本構想において「屋内スポーツ競技の中核的な施設（聖地）として、県大会をはじめとする各種大会の円滑な運営や、全国・国際大会の誘致が可能な施設とする。」（P4）としており、メインアリーナはバスケットボールコート4面、サブアリーナはバスケットボールコート2面、柔剣道場は各2面と弓道場を想定しております。また、フロア面積については、メインアリーナは$3,726\text{ m}^2$（$46\text{m} \times 81\text{m}$）$+\alpha$、サブアリーナは$1,564\text{ m}^2$（$34\text{m} \times 46\text{m}$）$+\alpha$、柔剣道場は$841\text{ m}^2$（$29\text{m} \times 29\text{m}$）$+\alpha$を想定しております。これらの面積については、必要最小限の規模とし、今後、設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・祇園之洲から与次郎にかけてパノラマ的な桜島を望む景色は失いたくないと思います。</p>	<p>○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・「総合体育館基本構想」という呼び名は県民の理解を広く得られてない。地域一帯を巻き込んだまちづくりを推進するのであれば、「アリーナ」「スポーツコンプレックス」などの名称変更が必要。</p> <p>・15号区にはサッカースタジアムを建設して、総合的なスポーツハブ化を進めることを望む。</p>	<p>○施設の名称については、これまで「総合体育館」の名称で検討を行っていましたが、「総合体育館基本構想検討委員会」において、スポーツ振興の拠点としての機能に加え、多目的利用による交流拠点機能を有する施設コンセプトにふさわしい名称とすべきとされ、同委員会の基本構想（案）においてもその旨が盛り込まれたことから、一般的な名称として「スポーツ・コンベンションセンター」に変更することとしました。</p> <p>○なお、施設の固有の名称については、ネーミングライツの取扱も含め、施設の竣工までに検討することとしています。</p> <p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>・ドルフィンポート跡地が最適かと思えます。よろしくをお願いします。</p>	<p>○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいります。</p>
<p>・公設民営で運営されますか？</p>	<p>○整備・運営手法については、基本構想（案）において「県民に対する低廉かつ良好なサービスの提供の観点から、本基本構想に示された施設の規模・構成等を前提に、民間事業者のノウハウも活用し、検討を行う。」（P50）としており、今後、最も適切なPPP/PFI手法を選択し、要求水準、リスク分担等の検討を行い、事業スキームを構築した上で、自ら公共施設等の整備等を行う従来型手法による場合と費用総額を比較し、導入の適否について評価を行うこととしております。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・友達と話し合った折、中には反対の意見もありました。桜島がいつも見える今の広々とした場所、最高とのことでした。 ・体育館も必要となれば市民皆様が楽しく利用出来る様にしてほしいものです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。 ○基本構想（案）において、施設のコンセプトは、「スポーツをする人もしない人も様々な年代の人々が交流できる施設」（P5）としております。 ○また、施設の整備に当たっては、「近年、国等において、アリーナは、まちとの連続性を確保するとともに、周辺に質の高いオープンスペースを配置するなど、施設の外でも賑わいを創出する開かれた施設とすることが望ましい」（P46）とされています。 ○最近整備されている類似施設においても、様々な人々が利用できる公共空間を施設内外に整備する事例がみられることから、「本港区エリアの立地を活かし、スポーツ大会等の施設利用者のみならず、県民や観光客が気軽に立ち寄り、回遊できる仕組みを検討することとし、具体的には、多目的広場やアプローチ空間、エントランスや展望スペースなどを活用し、カフェやイベント等にも利用可能な交流スペースを設けるなど、開かれた施設としての整備を検討する」（P46）こととしております。 ○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・新体育館にはとても期待しています。 <p>ただし、現有の県総合体育センター体育館もぜひそのまま残していただきたい。県総合体育センター体育館と新体育館の2施設で大会できるようになると、非常にありがたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○現体育館については、体育振興を通じて県民の体格の向上、青少年の健全な育成を期するための場として、昭和35年に竣工し、現在も幅広く利用されているところです。しかしながら、築後60年以上が経過し、施設の老朽化が進むなど、補修等を行いながら機能を維持している状況です。また、全国規模の競技大会の会場としては狭隘であるなどの課題があります。 現体育館の今後については、新たな総合体育館の機能や今後の現体育館の老朽化の状況などを踏まえながら検討することとなると考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・少々費用がかかっても、将来的に観光資源としての価値のあるものであれば、県民の多くは作ってよかったと思うはずです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本構想（案）において、施設のコンセプトは、「スポーツをする人もしない人も様々な年代の人々が交流できる施設」（P5）としております。 ○また、施設の整備に当たっては、「近年、国等において、アリーナは、まちとの連続性を確保するとともに、周辺に質の高いオープンスペースを配置するなど、施設の外でも賑わいを創出する開かれた施設とすることが望ましい」（P46）とされています。 ○最近整備されている類似施設においても、様々な人々が利用できる公共空間を施設内外に整備する事例がみられることから、「本港区エリアの立地を活かし、スポーツ大会等の施設利用者のみならず、県民や観光客が気軽に立ち寄り、回遊できる仕組みを検討することとし、具体的には、多目的広場やアプローチ空間、エントランスや展望スペースなどを活用し、カフェやイベント等にも利用可能な交流スペースを設けるなど、開かれた施設としての整備を検討する」（P46）こととしております。 ○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・建設される場所周辺の交通渋滞が生じないよう整備してもらいたい。</p>	<p>○交通対策については、基本構想（案）において、「歩行者動線の確保や警備員・案内板等の配置による歩行者の誘導、移動時間の分散や中心市街地への誘導、公共交通の利用促進やシャトルバスの運行、施設や駐車場への出入口と動線の工夫による混雑抑制」について整理しているところです。（P32）○具体的な対策等については、今後、整備に向けた取組を進める中で、道路管理者や交通管理者とも調整を行いながら、検討することとしたいと考えております。</p>
<p>・ドルフィンポートの場所は知事が選挙時言われてたコンベンション施設でいいのではないかと思う。</p>	<p>○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。</p>
<p>・総合体育館は不使用時には賑わいが無くなり、その周辺の活性化につながらないので総合体育館ではなくコンベンション施設でよいのでは。</p>	<p>○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。</p>
<p>・駐車場が広くとれる。谷山地区，松元，始良などでもいいのでは？</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・駐車場が広くとれるところに建ててほしい。谷山，松元，始良など。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・ 広く駐車場がとれる谷山，松元や交通に関して渋滞がおきにくい所がふさわしい。</p>	<p>○検討委員会においては，施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果，ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが，本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性，他の事業との関連も考慮し，ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については，資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・ 回遊性向上のために鹿児島市と連携して，このエリアに市電を延長すべきだと思います。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては，総合体育館をはじめ，鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから，基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており，現在，県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから，サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても，同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>・ 屋内スポーツの拠点となる新総合体育館の建設は，スポーツ振興のみならず文化・観光・経済面等，様々な効果が期待できます。一刻も早い新総合体育館の建設が進むことを期待しております。</p>	<p>○新たな総合体育館の整備に向けて，引き続き，丁寧な説明に努めながら，着実に取り組んでまいります。</p>
<p>・ サッカー等スタジアムとの併設を望みます。両方を一元管理すれば，経費の節約にもなりますし，両方を利用する人たちの利便性も高まります。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては，総合体育館をはじめ，鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから，基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており，現在，県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから，サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても，同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>・ 令和5年の鹿児島国体（特別国民体育大会）には間に合わなかったが，1日も早く新総合体育館の建設に着手していただき，多くの全国大会やイベントが開催できるようにしてほしい。</p>	<p>○新たな総合体育館の整備に向けて，引き続き，丁寧な説明に努めながら，着実に取り組んでまいります。</p>
<p>・ 2020年東京オリパラにおいては，大会ボランティア8万人の研修として障害平等研修（DET）が実施されて障害への理解に寄与しました。総合体育館にかかわるスタッフに対して，当該研修を受けることを必須とすることを提案したい。</p>	<p>○新たな総合体育館の検討に当たっては，障害者や高齢者を含む全ての利用者が公平に使用できるよう配慮することとしております。 ○また，基本構想（案）に，スポーツ指導者の養成拠点（例：部活動指導員，障害者スポーツ指導者，スポーツボランティアの育成）（P13）を追加し，検討を進めていくこととしております。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・ドルフィンポート跡地に複合型スタジアムを併設してほしいです。ユナイテッドは去年平均3,700人集客できましたし、コロナ禍が収まるとアウェー客も来場しやすくなるので、さらに集客が期待できると思います。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>・住吉町15番街区の活用を含め、鹿児島市と緊密に連携を取り、サッカー等専用スタジアムの建設を推進して頂きたいと思っております。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>・鹿児島国体で楽しみにしていた新体育館での開催は間に合いませんでしたが、今後全国大会規模の大きな大会やイベントを是非鹿児島でと、胸を張って言える素晴らしい体育館を早急に建てて頂きたいと思っております。体育館建設で桜島を望む景観を失うという理由で反対意見が出ている事では、建物を絶景の一部にするなど建設の工夫で反対意見が緩和できないものかと願っています。</p>	<p>○頂いた御意見を参考にさせていただき、基本構想（案）に、「県民に愛され、県民の誇りとなる施設として、まちづくりの拠点としてだけでなく、県民が誇れる施設となるとともに、様々な人々から永年に渡り親しまれ、愛着を持たれる鹿児島のシンボリックな施設となるよう、整備に向けた検討を進めることとする。」（P48）を追加しました。</p> <p>○具体的には設計段階で検討してまいります。</p> <p>○施設のデザインについては、基本構想（案）において「その施設のデザインなどが鹿児島港本港区エリアにふさわしいものとなるよう、検討を進める。」（P45）としており、具体の意匠やデザイン等については、設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・選手のみならず一般者の方への混雑等が発生しないようスムーズに会場入りできる施設整備の工夫を期待しています。</p>	<p>○動線については、基本構想（案）において「プロスポーツやコンサート等のイベント開催時においては、メインアリーナの観客席フロアの階層である2階レベルが主な観客動線となるため、屋外に2階レベルからのアプローチデッキを計画し、人と車の動線や、観客と選手・VIP等の動線を分離することとする。」（P25）としており、具体的には設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・新たな総合体育館にかかわるスタッフ、また検討委員に障害者等研修を受けることを必須とすることを提案したい。</p>	<p>○新たな総合体育館の検討に当たっては、障害者や高齢者を含む全ての利用者が公平に使用できるよう配慮することとしております。</p> <p>○また、基本構想（案）に、スポーツ指導者の養成拠点（例：部活動指導員、障害者スポーツ指導者、スポーツボランティアの育成）（P13）を追加し、検討を進めていくこととしております。</p>
<p>・太陽国体以後の長い年月をかけた重要課題ですので新しい総合体育館の建設が実現することを熱望いたします。</p>	<p>○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいります。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・県内のアスリートを育成するためには、正しい指導法とトップレベルの技術に触れることが重要です。そのような大きな大会を新体育館が設立されることで実現されることかと思えます。</p>	<p>○新たな総合体育館については、屋内スポーツ競技の中核的な施設（整地）として、県大会をはじめとする各種大会の円滑な運営や、全国・国際大会の誘致が可能な施設として整備することとし、また、県民が一流のスポーツイベントに触れる機会を創出するなど「みる」スポーツにも対応するとともに、スポーツ科学の研究・提携機能（鹿屋体育大学等との連携を検討）など、本県のスポーツ振興を「ささえる」施設とすることとしております。</p> <p>○また、基本構想（案）に、スポーツ指導者の養成拠点（例：部活動指導員、障害者スポーツ指導者、スポーツボランティアの育成）（P13）を追加し、検討を進めていくこととしております。</p>
<p>・天文館などの市の中心的商店街との連携について、県都であり、中核都市である鹿児島市の施策が最も重要であります。県と市の協調と協力を望みます。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>・時間がかかりすぎている。塩田知事は、どんどん先へ進めてほしい。</p>	<p>○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいります。</p>
<p>・桜島の眺めが良いので、眺めを楽しめる施設もほしい。</p>	<p>○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。</p> <p>○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。</p>
<p>・サッカースタジアムも同様に見過ごせない話。県だ、市だ、と言ってる場合ではない。県・市共に両輪となって鹿児島のスポーツ、イベント誘致運営からの経済効果、発展を見て動いてほしい。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>・また、私みたいにスマートフォンしかない人でも気軽に意見が出せるよう電子申請システムがあるので、システムを使って意見提出ができるようにもして欲しかったです。</p>	<p>○新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集については、鹿児島港本港区エリアにふさわしい体育館として、基本構想に盛り込んでほしい事柄等について、広く意見を募集し、総合体育館基本構想検討委員会における基本構想（案）の作成に向けた検討の参考とするために行ったものです。御意見を丁寧にお伺いするため、県HPから所定の様式を取得していただき、御意見を御記入いただく手法をとらせていただきました。</p> <p>いただいた御提案については、今後の参考とさせていただきます。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・コンベンション施設で良いのではないのでしょうか。</p>	<p>○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。</p> <p>○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。</p>
<p>・駐車スペースを十分に。</p>	<p>○駐車場については、基本構想（案）において、「住吉町15番街区に、県大会等のスポーツ大会やコンサート・イベント等の利用を想定した駐車台数として一般駐車場で500台程度、バス駐車場で50台程度を計画する。多目的広場を臨時駐車場として利用した場合の駐車台数は300台程度と想定する。また、新総合体育館近接に日常的な県民利用や関係者等の利用を想定した駐車台数として100台程度を計画し、障害者用駐車場については必要台数を確保する。大規模イベント開催時については、周辺の民間等駐車場（約2,270台）の利用も想定される。」（P30）とされたところです。</p> <p>○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・ドルフィンポート一帯は体育館を建てないで塩田知事が言われていたコンベンション施設を希望します。</p>	<p>○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。</p> <p>○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。</p>
<p>・知事が言われてたコンベンション施設でもいいのではないのでしょうか。</p>	<p>○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。</p> <p>○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。</p>
<p>・スポーツ、イベント、大会、コンサート等幅広い施設にしてほしい。</p>	<p>○新たな総合体育館については、屋内スポーツ競技の中核的な施設（聖地）として、県大会をはじめとする各種大会の円滑な運営や、全国・国際大会の誘致が可能な施設とするとともに、これに加え、コンサート・イベント等の開催を通じ、スポーツをしない人も、また、様々な年代の人々が交流できる施設として検討を進めることとしております。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・渋滞の起こらない場所に作ってほしいです。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・もっと広い駐車スペースのとれるところが良い。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・大型バスの駐めやすい広い駐車場が必要。周りの混雑を考えるべき。</p>	<p>○駐車場については、基本構想（案）において、「住吉町15番街区に、県大会等のスポーツ大会やコンサート・イベント等の利用を想定した駐車台数として一般駐車場で500台程度、バス駐車場で50台程度を計画する。多目的広場を臨時駐車場として利用した場合の駐車台数は300台程度と想定する。また、新総合体育館近接に日常的な県民利用や関係者等の利用を想定した駐車台数として100台程度を計画し、障害者用駐車場については必要台数を確保する。大規模イベント開催時については、周辺の民間等駐車場（約2,270台）の利用も想定される。」（P30）とされたところです。 ○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・ドルフィンポート跡地には現在サッカースタジアムの併設案もあるが、総合体育館の建設を優先すべきである。 サッカーは年間20試合（プロサッカー）ぐらいしかなく、また高校等の試合を考慮しても使用率は総合体育館に比べると低い。</p>	<p>○本港区エリアのまちづくりを進めるにあたっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想（案）において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」（P50）としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>・街にとけこむデザインにして一般の人が訪問しやすい工夫をすればすぐなじんでいくと思う。</p>	<p>○基本構想（案）においては、「その施設のデザインなどが本港区エリアにふさわしいものであることや、新たに展望スペースなどを設置することにより、桜島や錦江湾の眺望を楽しむ新たな空間を創出する方向で検討を進める。」（P45）としており、具体の意匠やデザイン等については、設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・体育館、文化祭のどちらも開催できる体育館、武道場においてもいつも練習ができるよう整備してほしい。</p>	<p>○新たな総合体育館については、柔剣道場も含め、屋内スポーツ施設の中核的な施設（聖地）として、全国・国際大会の誘致が可能な施設として整備することとし、必要な競技フロアを設けることとしております。</p>

新たな総合体育館の基本構想（案）に係る意見募集結果について
〔問3 その他〕

意見の概要	意見に対する考え方
<p>・一般の人でも気軽に運動を楽しめるスペース（たとえば卓球台など）があれば良い。・お茶を飲めるゆったりした場所（飲食スペース）</p>	<p>○新たな総合体育館については、一般県民のスポーツ利用を想定したサブアリーナを設置するとともに、飲食スペースの設置など競技スペース以外の部分にも配慮して検討を進めることとしております。</p>
<p>・長く県民に親しまれる鹿児島を代表するような施設になってほしいです。</p>	<p>○頂いた御意見を参考にさせていただき、基本構想（案）に、「県民に愛され、県民の誇りとなる施設として、まちづくりの拠点としてだけでなく、県民が誇れる施設となるとともに、様々な人々から永年に渡り親しまれ、愛着を持たれる鹿児島のシンボリックな施設となるよう、整備に向けた検討を進めることとする。」（P48）を追加しました。 ○具体的には設計段階で検討してまいります。</p>
<p>・体育館は老朽化していますが、現在も使用されております。現在の体育館と向かい側の鴨池ドームを利用することも県民に提案してください。・コロナ感染の先がはっきりするまでは結論を急がない方が良くと思います。</p>	<p>○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>
<p>・ドルフィンポート跡地に建設することは、防災上はもとより観光資源としての桜島の景観を損なうので断固反対です。大型の公共施設は税金を投入し続けなければならない次世代への負の遺産にならぬよう、今後の鹿児島をあらゆる面から総合的に考慮し判断していただきたい。</p>	<p>○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。 ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。（第6回検討委員会資料参照） ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。</p>